

2023年3月17日(金)▶21日(火) すみだパークシアター倉

『となり町戦争』『失われた町』などで何度も直木賞候補となっている三崎亜記の短編小説の舞台化。近い人の突然の死をどう受け入れていくか。別れられない人々を独特の世界観で描きつつ、誰しもが経験したことのあるような感覚になる三崎亜記の秀作を初舞台化する。2005年に出版された作品でありながら、震災や、コロナ禍や、戦争により、どう「人間の死」と向き合うか、という問いかけがリアルに浮かび上がる。演出の三木元太は厚労省や池袋演劇祭などで評価されてきた TEE 新生の演出家であり、脚本の西上寛樹はこれまで児童・青少年向け作品で高い実績があり、実力ある劇作家を迎えての公演となる。

Cast



Story

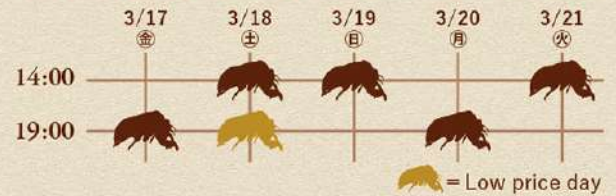
夏休み、突如失踪した母。売れっ子作家で自由奔放な母はどこに行ったのか？ 行方を探す12歳の麻美は、何か隠している様子の父のスマホを盗み見る。そこには母の名前『晴美』と、『若草荘』という文字があった……。

人はいつ、身近な人の死と折り合いをつけて日常生活に戻っていくのだろう。

物事がシステムティックに進められる現代。故人との別れもまた、葬儀を通して儀式的に気持ちを切り替えていくが、全ての人が出来るわけじゃない。システムからどうしてもはみ出た人々が、それぞれの心の中で『失う』ことを受け入れていく時間が流れる若草荘を舞台に、麻美は自分と母、或いは家族という関係を見つけ出してゆく。



2023年3月17日(金)▶21日(火)



すみだパークシアター倉

東京都墨田区横川1-1-10 (入口は大横川親水公園側)

- JR 総武線 / 錦糸町駅 (北口) より徒歩 15分
- 都営浅草線 / 本所吾妻橋駅 (A2 出口) より徒歩 13分
- 都営浅草線・京成線 / 押上駅 (A2 出口) より徒歩 14分
- 半蔵門線・東武線 / 押上駅 (B2 出口) より徒歩 15分
- ※半蔵門線・東武線からは A2 出口には出られません。
- 東武伊勢崎線 / とうきょうスカイツリー駅より徒歩 12分
- ※劇場の駐車場はございませんので近隣のパーキングにご駐車ください。

Staff

- 原作 / 三崎亜記
- 脚本 / 西上寛樹
- 演出 / 三木元太
- 音楽 / 中野亮輔 (青年座)
- 舞台美術 / 三木元太
- 振付 / 明樹由佳
- 衣裳 / 清野佳苗
- 音響 / 島猛
- 照明 / 真壁知恵子
- 宣伝美術 / 奥秋圭
- 舞台監督 / 雨宮大夢
- 制作 / 太田昭 小森明子

三崎亜記 (みさきあき)

1970年福岡県生まれ。熊本大学文学部史学科卒。2004年『となり町戦争』で第17回小説すばる新人賞を受賞しデビュー。同作は三島由紀夫賞、直木賞の候補にあり、累計60万部のベストセラーになる。

2006年「バスジャック」で第59回日本推理作家協会賞短編部門候補。同年『失われた町』で第136回直木賞候補、第28回日本 SF 大賞候補、第4回本屋大賞9位。2008年『鼓笛隊の襲来』で139回直木賞候補。最新刊は『名もなき本棚』。

西上寛樹 (にしがみひろき)

劇作家・演出家。愛媛県出身。日本映画学校(現日本映画大学)卒。人形劇団ひとみ座を経て2015年「シナリオ工房天邪鬼」として独立。依頼のあった創造団体とともに作品づくりを行なっている。また、2021年鹿児島県伊佐市に移住し地域おこし協力隊としても活動中。作品…『おいしいのぼうけん』(人形劇団ひとみ座)、『イノシシと月』(劇団さんぼ)、『大工の落書』(鹿児島県伊佐市)など。

■料金

- 前売 一般 3,800円
- 前売 U30 3,000円
- 当日 4,500円
- Low price day 2,500円

- 全席自由 (整理番号順の入場)
- ケンタウスの会会員の方便先入場
- 開場は開演の20分前
- 協賛 ケンタウスの会
- 申込 東京演劇アンサンブル TEL:048-423-2521
- TEE チケット web

《Web予約の注意事項》

ご予約前に、観劇ポータルサイト「カンフェティ」への会員登録(無料)が必要となります。セブンイレブンへの発行手数料がかかります。

